

全教 豊中教職員組合

とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2015年9月15日発行NO. 555

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

子ども達の豊かな成長を
皆で力を合わせよう！

9・9豊中市民アクション500名 「安保法案」NO!の共同の広がり



今週 VS

自・公与党強行の動き 国民の全国の大行動

9月9日、500名が豊島公園に大集合。呼びかけ人の3人の弁護士から、思想・考え方の立場の違いを超えて、「安保法案」は憲法違反、憲法を破壊する動きは認

められないとの一点での共同したとりくみと強調。豊中の市会議員も無所属（木村真・熊野以素）市民クラブ（酒井弘行・中野修）、共産党6人が集会に参加。

集会には全労連に結集する自治労連や全教などの労働組合以外、「連合」加盟の自治労市職やクリーランド労働組合等のたぐさんの組合・団体旗が

並びました。豊中ではかつてない集会となりました。集会后は500名が豊島公園から大門公園までデモ行進して市民に「戦争法案廃案！」とアピールしました。



憲法破壊
アメリカの戦争に協力する
「安保法案」は認められません
国民 わたしたち一人
ひとりの行動が**決定的!**

教育のつどい 2015 IN仙台

豊中国からか研一ター
全中教ポ一ター
しシポ一ター
川崎崎真澄さん
川崎崎真澄さん
(刀根山小)

教育のつどい（全国教育研究会）に参加した川崎真澄さんの感想です。

仙台空港に到着。ここは、組合のスキーツアーで何回も参加した地です。津波が来た高さが記されているのが、唯一、震災を思わせるものでした。

開会集会は、四千人以上の参加。「祖父の記憶」という文化行事。現地、名取北高校の演劇部とOBによる上演で、「戦争に行くのは自分たちか」の思いで、戦争を考えるきっかけをつくらうと取り組んだ演劇でした。プロのような構成、演出で「文化のもつ力」から、平和の大切さが熱く伝わってきました。

金平茂紀（TBS「報道特集」キャスター）の記念講演では、戦後に生きている私達は、災後を経験し、今、戦前

にいたのでは？の定義に文化行事の演劇と相まって、恐ろしく感じました。メディアの役割は、筑紫哲也氏が亡くなる前、最後にテレビで訴えられた映像を見せながら、①力の強い者の監視 ②少数者の視点 ③多様な意見の確保を大事にしなければいけないと、現在起こっていく国のあり方をも例に挙げて述べられた。

最後に、今、高校生や若者が国会議事堂の前で、声を上げている様子を見せ、未来への展望を示し講演を終わられた。

さらに、夕方からの教育フォーラムの一つ「3・11から4年半く子どもと学校の課題をフクシマから考える」に参加した。学力調査をしたり、東京オリンピックへ、人の目を向かわせたりすることで、震災をなかつたことにしたい教育行政。学力を高めたら、学校に人が帰って来るという発想で行われ先生たちも、目の前の震災を考えるとか命と向き合えない状態もあつたんだということが分かった。目に見えない放射線の怖さ、廃棄物の始末のいい加減さも話題になった。

「文化活動・図書館」の分



科会に参加した。報告者は北海道山口県までで、10人。たくさんの良い本に出合うことができた。私は、そこで、「昔あそび」を通して、子どもらに挑むたのしさを」というテーマでビデオなども映しながら発表した。これまでは、友達とのかかわりや遊びの中で自然に身に付いていくものであつて学校で意識して取り組むことではなかつた。普通に生活していれば経験の中で学ぶことができていたコミュニケーションを覚えて、学校教育で意識的に学ばせる取り組みが必要になつている。という劇作家の平田オリザ氏の言葉の引用が心に響いた。たくさんの刺激に触れ合えた3日間でした。

あの戦争はなんだつたのか!
歴史の事実を見つめ、真実を学ぶ、語り継ごう!
歴史空曲の安谷信昌自民党政権 侵略戦争美化

従軍慰安婦(2)

「慰安所」は戦争の拡大とともに中国各地に、太平洋戦争開戦後には東南アジア各地に設置されました。軍直轄の「慰安所」とは別に民営の施設もありました。「慰安婦」とされた女性たちは、多くが朝鮮から「女子挺身隊」などの名目で連れてこられた20歳前後の未婚の女性でした。国家機関(軍・内務省・総督府)が朝鮮を中心とする地域で、組織的に女性を集め、軍が「慰安所」の設置と運営に直接かわるなど、政府機関・軍が直接関与したということが、日本における「慰安婦」問題の特徴です。

「慰安婦」にされた女性



性の総数は8万人とも10万人ともいわれ、さらに多数にのぼつたという推計もあります。

慰安婦問題は①日本軍の在り方(戦時性暴力の問題)②植民地・占領地支配の在り方③女性の置かれた位置・人権の在り方④戦後補償の在り方 といった大きな問題があります。だからこそ、現在でも国際的にも大きな問題となつているのです。

参考「日本近現代を読む」新日本出版

ネットサイト

インターネットサイトでは、朝日新聞の誤報によって、従軍慰安婦問題についての誤解を世界に発信したという主張のサイトがたくさん見られます。○従軍慰安婦問題についてのサイト

・FIGHT FOR JUSTICE 日本軍「慰安婦」が、参考になります。